

## パートⅠ. 最高責任者による国連グローバル・コンパクトへの継続的支持の表明

2022 年 2 月 3 日

ステークホルダーの皆さまへ

上智大学長 曄 道 佳 明



### 国連グローバル・コンパクト Communication of Engagement

この文書は、上智大学が国連グローバル・コンパクト（以下、「UNCG」と称す）を継続的に支持することを表明するとともに、UNGC の 10 原則ならびに UNGC が推進する取組みを実践してゆくために、今後も最大限努力することを誓約するものです。

本学は、2015 年に UNGC に署名して以来、主に以下に掲げる 3 つの領域で UNGC の活動に参加してきました。取組み内容については、添付の資料をご参照ください。

1. グローバル・コンパクトに関連するテーマを扱う教育の提供
2. グローバル・コンパクトに関連する応用研究とソートリーダーシップを実践すること
3. グローバル・コンパクトの原則を発信すること

本学は、UNGC の 10 原則及び持続可能な開発目標（SDGs）の推進に貢献することを教育及び研究の長期目標に掲げています。本学は、設立母体であるイエズス会の教育精神「For Others, With Others（他者のために、他者と共に）」に基づき、我が国のみならずグローバル社会に奉仕する人材の育成を主たる教育理念としています。かかる意欲と精神によって、本学は、地球規模で UNGC を推進するために、国内外のアカデミアに率先して取組んでまいります。

以上

## パートⅡ． 取り組み状況（2019 年 11 月～2022 年 2 月）

### 1. グローバル・コンパクトに関連するテーマを扱う教育の提供

#### (1) SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures)の開設

2020 年秋学期に新しい英語学位プログラム SPSF を開設しました。これは総合人間科学部教育学科・社会学科、経済学部経済学科、総合グローバル学部総合グローバル学科、文学部新聞学科、経済学部経営学科の 6 学科が協力して開発したプログラムで、新たな課題解決に取り組み、それを乗り越えていく力を養うカリキュラムを構築し、人材育成に取り組んでいます。

詳細はこちら <https://www.sophia.ac.jp/jpn/news/PR/2018/press1026SPSF.html>

#### (2) 国連グローバルコンパクト 4 分野に関する学科目開講

国連グローバル・コンパクトの定める 4 分野（人権、労働、環境、腐敗防止）10 原則について、特に人権、労働、環境を取り扱う学科目を法学部、経済学部、理工学部、大学院地球環境学研究科を中心に多数開講しています。

#### (3) SDGs を取り上げた教育の推進

学部・大学院を横断して SDGs を扱う教育を提供し学生の意識を醸成しています。

詳細はこちら

[https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/department/SDGs\\_Activity\\_1.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/department/SDGs_Activity_1.html)

[https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/department/SDGs\\_Activity\\_2.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/department/SDGs_Activity_2.html)

### 2. グローバル・コンパクトに関連する応用研究とソートリーダーシップを実践すること

#### (1) サステナビリティ推進本部の設置

上智大学を設置する学校法人上智学院は、社会的責任（Social Responsibility）を果たす取り組みを一層推進するために、2021 年 7 月にサステナビリティ推進本部を設置しました。本体制の構築によって、SDGs に寄与する本学の研究、教育、社会貢献を整理し、教育研究と同様に法人全体での重点方針として取り組んできたダイバーシティ推進や女性研究者支援、SOPP（ソフィア オリンピック・パラリンピック・プロジェクト）活動などの取り組みを統合し活性化していきます。

また、サステナビリティ推進本部は教員・職員・学生が分野横断的にアイディアを出し合い、そこから新たな価値を生み出していくことを目指すため、学生職員を採用しています。学生職員は、学生の視点から広報、情報収集、制度設計に積極的に参画し、関係部署のサポートを担うだけでなく、学生の目線や発想力・創造力を活かして、サステナビリティ推進本部の業務に携わることができます。

詳細はこちら [https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/Sophia\\_SDGs\\_about.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/Sophia_SDGs_about.html)

#### (2) サステナビリティと SDGs に関連する研究の推進

サステナビリティをテーマに学部・大学院を横断的に分野を融合した共同研究等を推進しています。

詳細はこちら [https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/Sophia\\_SDGs\\_EduResearch.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/Sophia_SDGs_EduResearch.html)

[https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/department/SDGs\\_Activity\\_3.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/department/SDGs_Activity_3.html)

#### (3) 学生団体によるサステナビリティ推進活動

人道支援、福祉ボランティア、教育支援ボランティア、環境保全活動などの多種多様なサークルによる自発的なサステナビリティ推進活動が展開されています。

詳細はこちら [https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/Sophia\\_SDGs\\_StudentActivity.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/Sophia_SDGs_StudentActivity.html)

[https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/Sophia\\_SDGs\\_StudentInterview.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/Sophia_SDGs_StudentInterview.html)

#### (4) 国連・責任投資原則（PRI）と ESG 投資

学校法人上智学院は、2015 年 11 月に国内の大学では最初に国連が支援する責任投資原則（PRI）に署名しました。上智大学の建学の理念と整合的な投資方針を取り入れ、加盟している GC の原則を資産運用面で実践しています。教育研究機関を運営する学校法人として、責任あるアセット・オーナーとして、今後とも ESG 投資を通じて、グローバル社会の直面する様々な課題解決に貢献してまいります。

また、これに関連して以下のイニシアティブにも参画しています。

- ① 「2021 年 気候危機に関する政府に向けてのグローバル投資家ステートメント」への署名

- ② TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同表明
- ③ Climate Action 100+への参加表明
- ④ 「アマゾンの森林破壊と森林火災に関する投資家の声明」への署名

詳細はこちら <https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/index.html>

### 3. グローバル・コンパクトの原則を発信すること

#### (1) 「上智大学サステナビリティ&SDGs」サイトの開設

2020年度に本学のサステナビリティとSDGs推進に関する活動を網羅したポータルサイトを開設し、教育、研究及び社会貢献に関する情報を発信しています。

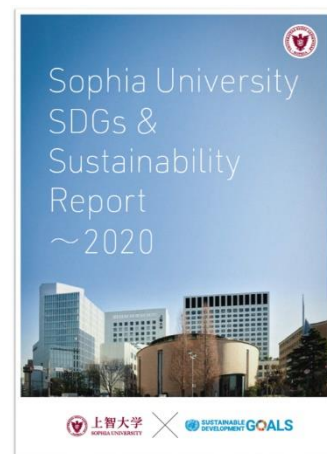
詳細はこちら <https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/index.html>

#### (2) 「Sophia University SDGs & Sustainability Report 2020」の発行

サステナビリティとSDGsに関する2020年度の取り組みを中心にした、活動レポートを作成しました。学生団体の取り組みについては、学生職員がインタビューを実施し、記事を執筆しています。

レポートはこちらで読みいただけます

[https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/Sophia\\_SDGs\\_about.html#sdgs\\_report](https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/approach/SDGs/Sophia_SDGs_about.html#sdgs_report)



#### (3) 上智大学国連 Weeks 開催とグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(GCNJ)との共同イベント実施

上智大学国連 Weeks は、国際協力人材の育成を推進するために「国連の活動を通じて、世界と私たちの未来について考える機会」を提供するとともに、SDGsの啓蒙と普及に資することを目的とし、2014年から毎年6月及び10月の2回イベント週間を実施しており、2021年10月までに16回開催してきました。新型コロナウイルス感染拡大により、2020年6月は中止となり、以後はオンラインで開催しています。

期間中はシンポジウムをはじめとするイベントを数多く開催しています。また、高校生をはじめ広く社会に本学と国連機関等の活動を広め、本学とのパートナーシップをアピールする場としています。

この国連 Weeks の中で、UNGC 活動の一環として GCNJ と共催でシンポジウムを開催しています。

### ◆国連 Weeks 2020 年 10 月プログラム

プログラム概要はこちら

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/news/PR/UNWeeksOctober2020.html>



この国連 Weeks のプレイベントとして、9 月 23 日には ILO と本学が共催し GCNJ が後援したセミナー「デジタル経済における仕事のより輝かしい未来に向けて」(Towards a brighter future of work in the digital economy)を開催しました。

## ◆国連 Weeks 2021 年 6 月プログラム

**第15回 上智大学 国連Weeks June 2021**  
6月7日(月)~6月21日(月)

**スケジュール**

- 6/7 (月) シンポジウム: 国連平和目標「人権・平和構築・開発イニシアチブ」
- 6/8 (火) シンポジウム: JICA 国際協力本部 国際協力推進部との連携と今後の展望
- 6/10 (木) シンポジウム: コロナ禍のSDGsへのインパクトと今後の展望
- 6/14 (月) 国連「国連開発目標」への取り組みと展望
- 6/15 (火) 国連「国連開発目標」への取り組みと展望
- 6/17 (木) 国連「国連開発目標」への取り組みと展望

各イベント(参加費別)への申込みはこちらどうぞ <https://ejpro.jp/sophia/>

プログラム概要はこちら

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/news/PR/UNWeeksJune2021.html>

## ◆国連 Weeks 2021 年 10 月プログラム

**第16回 上智大学 国連Weeks October 2021**  
10月11日(月)~10月25日(月)

**スケジュール**

- 10/11 (月) シンポジウム: エシカル消費と持続可能な開発目標
- 10/12 (火) シンポジウム: 紛争及び高リスク地域におけるビジネスと人権
- 10/15 (木) シンポジウム: 国連「国連開発目標」への取り組みと展望
- 10/18 (日) シンポジウム: 国連「国連開発目標」への取り組みと展望
- 10/19, 10/21 (月、水) シンポジウム: 国連「国連開発目標」への取り組みと展望
- 10/20 (火) シンポジウム: 国連「国連開発目標」への取り組みと展望
- 10/22 (木) シンポジウム: 国連「国連開発目標」への取り組みと展望

各イベント(参加費別)への申込みはこちらどうぞ <https://ejpro.jp/sophia/>

プログラム概要はこちら

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/news/PR/UNWeeksOctober2021.html>

この国連 Weeks 中、10 月 12 日に本学と GCNJ 共催で「紛争及び高リスク地域におけるビジネスと人権」を開催しました。基調講演には国連ビジネスと人権作業部会委員を務めたワシントン大学アニタ・ラマサストリ教授及び国連国際ミャンマー独立調査委員会前代表のマルズキ・ダルスマン氏を招き、国内外からパネリストが参加しました。

## パートⅢ. 成果の測定

### 1. グローバル・コンパクトに関連するテーマを扱う教育の提供

2020 年度に新設した 6 学科横断の英語学位プログラム「SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures)」は反響も大きく、入学した学生は非常に意欲的に課題に取り組んでいます。

学生の声

[https://www.youtube.com/watch?v=tNMEh4A1MUY&list=PLPmHXQbKIWTzvGLfOOEg4PRZTiEepD\\_Xk&index=2&t=195s](https://www.youtube.com/watch?v=tNMEh4A1MUY&list=PLPmHXQbKIWTzvGLfOOEg4PRZTiEepD_Xk&index=2&t=195s)

[https://www.youtube.com/watch?v=vpkuvDb2ImQ&list=PLPmHXQbKIWTzvGLfOOEg4PRZTiEepD\\_Xk&index=3&t=190s](https://www.youtube.com/watch?v=vpkuvDb2ImQ&list=PLPmHXQbKIWTzvGLfOOEg4PRZTiEepD_Xk&index=3&t=190s)

[https://www.youtube.com/watch?v=IDs0jbCGJfI&list=PLPmHXQbKIWTzvGLfOOEg4PRZTiEepD\\_Xk&index=4&t=122s](https://www.youtube.com/watch?v=IDs0jbCGJfI&list=PLPmHXQbKIWTzvGLfOOEg4PRZTiEepD_Xk&index=4&t=122s)

[https://www.youtube.com/watch?v=ekAn8pKwFXc&list=PLPmHXQbKIWTzvGLfOOEg4PRZTiEepD\\_Xk&index=5&t=133s](https://www.youtube.com/watch?v=ekAn8pKwFXc&list=PLPmHXQbKIWTzvGLfOOEg4PRZTiEepD_Xk&index=5&t=133s)

本学学生の学習意欲は高く、また環境問題や人権問題への関心は学部を問わず高まっています。サステナビリティ及び SDGs に対する関心も高まっており、これらを扱う科目の増加とともに受講学生も増加し、主体的な学びが実践されています。

### 2. グローバル・コンパクトに関連する応用研究とソートリーダーシップを実践すること

サステナビリティ推進本部の設置により SDGs に代表されるサステナビリティ推進に関して、これに寄与する上智学院傘下の各学校の研究、教育、社会貢献が成果として整理され、社会にさらに強く発信していくことが期待されるとともに、推進における進捗管理や指揮命令系統が整備されました。特にグローバルキャンパス創生のためのダイバーシティ推進、共生社会の実現に向けた学内環境の整備は今後さらに進むものと期待されています。

サステナビリティと SDGs に関連する研究は、学部や研究科を問わず多様なグループによって多くの取り組みが推進されており、今後さらに進展することが期待されます。SDGs をキーコンセプトとするスウェーデンと日本の大学コンソーシアムによる共同研究推進イニシアティブである MIRAI 2.0 プロジェクトや世界のカトリック大学が連携してサステナビリティ課題に取り組む SACRU (Strategic Alliance of Catholic Research Universities) などのグローバル連携も今後の成果が期待されています。

PRI 活動では、2020 年の年次評価（総合評価・組織とガバナンス）において、3 年連続で最高評価の「A+」を獲得しました。

詳細はこちら <https://www.sophia-sc.jp/info/esg.html>

### 3. グローバル・コンパクトの原則を発信すること

「上智大学サステナビリティ&SDGs」サイトや「Sophia University SDGs & Sustainability Report 2020」が公開され本学のサステナビリティ推進活動が網羅的に発信されることにより、学内外から大きな関心が寄せられることとなりました。

国連 Weeks は、2019 年までは学内で毎回多くの来場者を動員していましたが、2020 年からのコロナ禍の影響で現在のところすべてオンラインで開催されています。オンラインでは日本国内の全域、世界各地からもイベントへの参加が可能になったことで飛躍的に参加者数が増加しました。参加者は、毎回、学生や一般社会人に加えて高校生も多数参加しており、若い世代に着実にサステナビリティの意識高まっていることが窺われます。2021 年に第 7 回目となった GCNJ との共催シンポジウム「紛争及び高リスク地域におけるビジネスと人権」は、ビジネスと人権の先駆者であり、同年 9 月に他界したジョン・ラギー氏に捧げられ、氏の提唱した人権デューデリジェンスがいかに重視されるかについて認識を新たにしました。

国連 Weeks 実施報告はこちら

[https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/program/unweeks\\_2020-2.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/program/unweeks_2020-2.html)

[https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/program/unweeks\\_2021-1.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/program/unweeks_2021-1.html)

[https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/program/unweeks\\_202110.html](https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/program/unweeks_202110.html)